

尼崎版総合戦略骨子（案）

資料 2

尼崎版総合戦略

【検討の視座】

【基本的な考え方】

【今後検討する基本目標】 （6分野・取組項目は今後検討）

【政策パッケージ】 （内容は今後検討）

総合計画が基本

1 2060年の本市人口の将来展望アプローチ

2 本市の独自性の打ち出し

3 三大都市圏にありながら人口減少都市である

4 超高齢社会の到来

5 フォアキャストとバックキャスト思考



●ファミリー世帯を中心とした現役世代の定住・転入促進（ひと）

●他都市に先駆け超高齢社会を迎えるまちでの健康長寿の実現（まち）

●地域経済の振興による市内経済の循環（しごと）

①子ども・子育て支援の充実

●地域ぐるみで子どもの育ちを支え、生きる力や学力の向上を図る。

②学校・社会教育と人材育成

●地域ぐるみで子どもの育ちを支え、生きる力や学力の向上を図る。●市民の力を地域での活動につなぎ、地域コミュニティの活性化を支援する。
●社会とつながりを保ち、安定した生活を送れるよう、就労や自立を支援する。

③仕事の創出・就労と所得水準の向上

●社会とつながりを保ち、安定した生活を送れるよう、就労や自立を支援する。●社会や地域における新たなニーズに応え、雇用創出にもつながる事業活動を支援し、地域内の経済循環を図る。

④超高齢社会への対応

●生涯を通していきいきと社会に参画できるよう、健康を支援する。

⑤土地利用と公共施設の見直し

●よりよい住環境の創出に向けた取組を促進する。
●公共施設の再配置と機能向上を図り、市民活動や災害時の拠点として持続的に活用する。

⑥シビックプライドの醸成

●市民の力を地域での活動につなぎ、地域コミュニティの活性化を支援する。●「まちの魅力」の再発見・創出と、戦略的な情報の構築・発信により尼崎の魅力を高める。

重要業績指標

6分野ごとに目標指標を設定（例を記載）

- 5年後にファミリー世帯の転出超過を〇%減少させる
- 5年後に市内の雇用者数を〇人増加させる
- 後期高齢者の介護認定を〇%に押さえる
-
-
-

主な取組

6分野ごとに主な取組を記載（例を記載）

- 子育て支援センター機能の充実
- 聖トマス大学跡地の活用
- 市民参加型シティプロモーションの推進
-
-
-

あまがさき未来予想図